

2023年度国際交流事業実施状況と成果

2023年度事業	事業内容と目標	事業実施状況	事業の点検と成果
事業 1	韓国・中国・カナダ・台湾の協定大学と「長期派遣留学」を円滑に行う。 達成数値100%	<p>①韓国烏山大学長期派遣 留学生数: 短大・生デ3名 留学期間: 2023年4月～2024年2月。 留学生募集方法: 9月に学内にポスター掲示にて募集。 説明会時期: 7月上旬。選抜試験方法: 韓国語筆記試験、大学のGPA成績、面接試験、応募理由書の合計より決定。空港見送りと指導。保護者の対応。</p> <p>②カナダ: カピラノ大学長期派遣 留学生数: 学部・こ生1名、短大・生デ1名 留学期間: 2023年9月～12月。 留学生募集方法: 10月に学内にポスター掲示にて募集。説明会時期: 9月中旬。選抜試験方法: TOEIC試験結果、大学のGPA成績、面接試験、応募理由書の合計より決定。空港の見送りと指導。</p>	<p>①韓国烏山大学派遣学生は、烏山大学と語学堂の学習に励んだ。報告書も3名とも提出できた。派遣留学生のトラブル相談対応は随時実施。パスポート、ビザの手配などのスムーズに実施できた。帰国後、スプリングカレッジなどに参加し、高校生に留学体験を報告する。</p> <p>②カナダカピラノ大学長期派遣留学生は、履修登録やオリエンテーションを終え、カピラノ大学での学習に励み帰国した。報告書も2名とも提出できた。派遣留学生のトラブル相談対応は随時実施。パスポート、ビザの手配などのスムーズに実施できた。</p>
事業 2	韓国・中国・カナダ・台湾の協定大学と「短期派遣留学」を円滑に行う。 達成数値100%	<p>①韓国烏山大学短期派遣 留学生数: 22名 留学期間: 2023年8月11日(金)～8月24日。 留学生募集方法: 6月上旬に学内にポスター掲示にて募集。事前説明会時期: 6月中旬。留学前説明会時期: 7月上旬。 留学についての相談対応は随時。空港の見送りと指導、保護者の対応。</p> <p>②台湾: 慈濟科技大学短期派遣 留学生数: 8名 留学期間: 2023年8月7日(月)～8月16日。 留学生募集方法: 6月上旬に学内にポスター掲示にて募集。事前説明会時期: 6月中旬。留学前説明会時期: 7月上旬。 留学についての相談対応は随時。中部国際空港の見送りと指導、保護者の対応。</p>	<p>①韓国烏山大学短期派遣 受入れ定員は最大20名であったが、2名多い22名が参加した。パスポート、ビザの手配などの比較的スムーズに実施できた。留学生が帰国後は、次年度に向けてアンケートを実施した。留学先での学生相談や健康管理の対応も問題なし。</p> <p>②台湾: 慈濟科技大学短期派遣 派遣留学生数8名が研修に参加した。パスポート、ビザの手配などのスムーズに実施できた。貴重な研修体験を終えて無事に帰国した。留学生が帰国後は、次年度に向けてアンケートを実施。</p>
事業 3	韓国・中国・カナダ・台湾の協定大学と「長期受け入れ留学」を円滑に行う。達成数値100%	<p>①韓国烏山大学長期受け入れ 留学生数: 3名 留学期間: 2023年4月～2024年2月</p> <p>②北京第二外国語大学受け入れ 留学生数: 2名 留学期間: 2023年4月～2024年3月</p> <p>③カナダ: カピラノ大学長期受け入れ 留学生数: 3名 留学期間: 2023年5月～7月</p> <p>④台湾: 慈濟科技大学受け入れ 留学生数: 1名 留学期間: 2023年9月～2024年8月 ※ 各留学において、オリエンテーションや科目登録等を実施した。留学生の相談対応は随時実施。</p>	<p>①以前は、コロナウイルス感染拡大のために留学の受け入れができなかったが、昨年度は9月より中国と韓国から受け入れ、今年度は韓国・中国・カナダ・台湾の4カ国から留学生達を受け入れた。各国の協定校の担当教職員との連絡対応が多かった。</p> <p>②岡崎学舎で、4カ国の留学生の受け入れは初めてのことであったが、受け入れ留学生達は、真面目に授業に参加して帰国した。本学から派遣した留学生のサポートをしてくれた受け入れ留学生が複数いた。</p>
事業 4	韓国・中国・カナダ・台湾の協定大学と「短期受け入れ留学」を円滑に行う。 達成数値100%	<p>①韓国烏山大学短期受け入れ。 留学生数: 20名 留学期間: 2023年7月上旬～下旬 3週間 ※今年度は烏山大学の都合により中止。 オリエンテーション: 留学生の到着日に実施 修了式: 研修最終日に実施</p> <p>②台湾: 慈濟科技大学短期受け入れ。 留学生数: 6名 引率教員: 1名 留学期間: 2023年6月19日(月)～6月26日(月) オリエンテーション期日: 6月19日(月) 修了式: 6月26日(月)、第二会議室</p>	<p>①韓国烏山大学短期受け入れ。 2023年1月に烏山大学から「今年度は中止したい」と連絡があった。しかし、9月に「やはり1月に派遣したい」と連絡があったが、12月に派遣中止の連絡を受けた。</p> <p>②台湾: 慈濟科技大学短期受け入れ。 留学生数は6名が研修に参加した。学内での研修、学外研修を終えて無事に帰国した。歓迎会でボーリング場に行ったり、焼肉屋での食事は盛り上がり良かった。</p> <p>③中国北京第二外国語大学やカナダカピラノ大学からの短期受け入れ留学は、実施されなかった。</p>
事業 5	「留学生のイベント関連」を積極的に開催する。 達成数値100%	<p>①「留学生と本学学生の定期的な集まりの場を設定」。本学の学生で、留学生達と交流したいという学生のために交流の場を設けた。 場所: 交流センター(6号館) 期日: 毎週月曜日と木曜日 昼休み12:50～13:10 目的: 留学生と本学の学生の交流。</p> <p>②「留学生の夏季社会研修」について ・取り組み: 7～8月に学外研修を実施。※カナダカピラノ大学留学生が大阪や京都へ出掛けた。</p> <p>③学生会の夏祭りにおいて中国・カナダの留学生達が浴衣を着て参加した。</p> <p>④「クリスマス会」を開催し、中国・韓国・台湾からの留学生が「各国のクリスマスについて」日本語で発表した。</p>	<p>①留学生と本学学生の定期的な集まりの場を設定したために、本学学生と留学生の交流が盛んになった。</p> <p>②カナダカピラノ大学の留学生は、自ら社会研修先を計画準備し実施した。しかし、中国北京第二外国語大学や台湾慈濟科技大学の研修旅行は計画・実施できなかった。</p> <p>③留学生は、浴衣を着て、ステージに上がり多くの学生や教職員との交流を果たした。</p> <p>④留学生は自分でPowerPointを制作し、立派に日本語でスピーチした。</p>